

溶接科

定員
20名

対象者
新規高卒者
離転職者
(高卒程度以上)

訓練期間
1年

求人数は南部校No.1！手に職を！



【目指す職種】

金属加工製造業
(造船、車両、建築鉄骨、精密鋳金、配管、プラント等)

【目指す資格等】

溶接適格性証明書
(JISに基づき溶接技量の評価試験を行い、合格すると認証される資格です)
ガス溶接技能講習
アーク溶接特別教育
自由研削といし取替え等の
業務特別教育

技能士補

【修了後に取得を目指す資格】

2級技能士(職種：金属プレス加工、建築板金、工場板金)

指導員から

溶接科担当：佐々木指導員



金属製造業の多くは、人の手によって行う溶接から全て自動で行うロボット溶接があります。一見、時代の流れによって、ロボット溶接にシフトされるイメージがありますが、実際には人の技能がロボットよりも勝り、職人が必要とされる場面は令和になった今でも変わらず存在します。ただ、当然のことながら、溶接技能だけでは仕事としては成立しません。現場の用語を理解し、図面が読め、各種機械を操作して、欠陥のない品質重視の溶接ができることが必要です。当校溶接科では、溶接を軸として仕事に精通した技術・技能を習得します。1年間、共に就職に向けて頑張りましょう！

在校生から (入校したきっかけは?)

- ・ものづくりに興味があり、就職先で必要な様々な溶接技術を実践的に学べると聞いて溶接科を選びました。
- ・前職の事務系から、ものづくりへ職種転換を考え、溶接を学ぼうと思いました。
- ・職人に憧れ、手に職をつけるべく溶接科を選びました。
- ・オープンスクールに参加するまでは、詳細がよくわかりませんでした。実際にオープンスクールに参加してみると雰囲気が高く、溶接の面白みを知ることができたので入校を決めました。

主な就職先

アップウェルド(株)、エムイーシーテクノ(株)中国事業所、山陽鉄工(株)、JFEプラントエンジニアリング(株)倉敷事業所、大和コアファクトリー(株)、(株)高田工業所、バライジング(株)、(株)平野鐵工所、(株)三井E&Sマシナリー

動画はこちら！



年間カリキュラム

◇4月～7月（第一過程）溶接の基本を身につけます。

●各種工作機械取り扱い●ガス溶接、溶断実習●被覆アーク溶接実習●被覆アーク溶接技能者評価試験対策



【溶接に関する学科講義】
金属加工に関する安全、溶接法等について学びます。



【各種工作機械の取扱い実習】
溶接前工程のボール盤での穴あけやシャー切断等の操作方法を習得します。



【ガス溶接、溶断実習】
ガス溶接に関する安全教育やガス溶接、切断等について習得します。

◇8月～12月（第二過程）就職活動と並行しながらより実践的な技術を学びます。

●半自動アーク溶接実習●TIG溶接実習●各種検査●半自動アーク・TIG溶接技能者評価試験対策



【破壊検査、非破壊検査実習】
溶接構造物の品質管理として、曲げ試験や超音波探傷試験を行います。



【半自動アーク溶接実習】
溶接基本操作から裏波溶接や専門的な姿勢の溶接まで習得します。



【TIG溶接実習】
溶接基本操作から軟鋼やステンレス鋼のすみ溶接、裏波溶接等を習得します。

◇1月～3月（第三過程）実践的な技術を学びます。

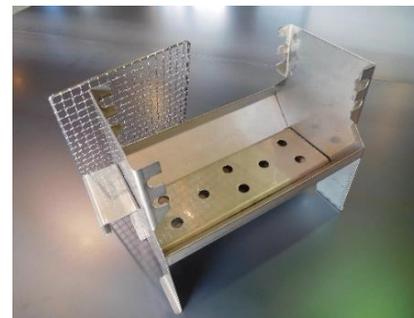
●製図実習●パソコンリテラシー・CAD実習●ロボット溶接●応用課題（バーベキューコンロ製作）



【パソコンCAD実習】
パソコン、CAD操作を習得し、文書作成・表計算、図面作成を行います。



【ロボット溶接実習】
ロボットのティーチングプログラムを組み、溶接ロボットを動かします。



【応用課題】
図面から各種工作機械、溶接を用いてバーベキューコンロを製作します。